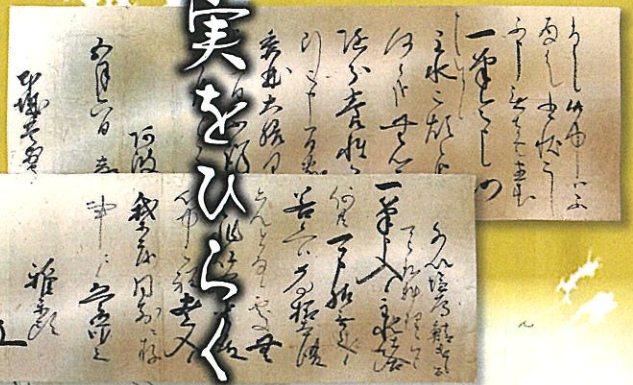
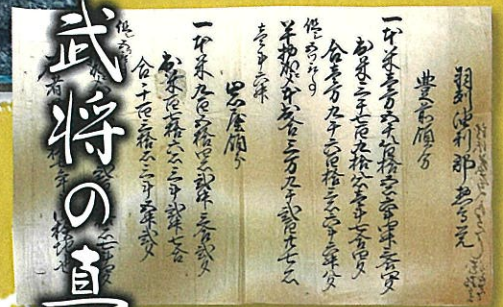


本荘郷土資料館 令和7年度第Ⅱ期企画展

郷土の礎を築いた
武将の真実をひらく

新市指定文化財

本城満茂に関わる資料展



令和7年
9月20日(土)

令和8年
1月11日(日)

本荘郷土資料館

〒015-0011 由利本荘市石脇字弁慶川5 TEL0184-24-3570

開館時間：午前9時から午後5時 休館日：毎週月曜日

※ただし月曜日が祝日の場合は翌日 入館料：大人100円/学生以下無料/団体20名以上で一人50円

本荘藩の初代藩主、本城満茂公の末裔である本城正也様より
寄贈された、市の新たな指定文化財「本城満茂関係文書」と「本
荘城下絵図」を中心に公開します。

この機会に、本荘のまちの礎を築いた本城満茂の生涯と功績
を広く市民に紹介し、郷土の歴史や文化財への関心と理解を深
めていただければ幸いです。

新市指定文化財 本城満茂に関わる資料展

～郷土の礎を築いた武将の真実をひらく～

本企画展は、本荘藩初代藩主であり、本荘のまちの基盤を築いた本城満茂の生涯と功績を、新たに市の指定文化財となった「本城満茂関係文書」および「本荘城下絵図」を中心に紹介することで、広く市民に郷土の歴史と文化財への関心と理解を深めてもらうことを目的とします。

1. 企画の背景と目的

近年、本城満茂ゆかりの貴重な資料が市の指定文化財となり、本荘の歴史における満茂の重要性が再認識されています。これらの文化財は、これまで一般に公開される機会が限られており、市民が直接触れる機会が少ない状況でした。本企画展では、これらの新指定文化財を核として、満茂の多岐にわたる功績がいかにより本荘のまちに影響を与えたかを具体的に提示することで、郷土の歴史への関心を喚起するとともに、文化財保護への意識向上に繋がります。

2. 企画のねらい

満茂直筆の書状からは、当時の時代背景や満茂の人間性が垣間見え、城下絵図からは、江戸初期の本荘の様子が鮮明に浮かび上がります。これらの資料を詳細な解説とともに展示することで、来館者が資料の持つ歴史的・文化的価値を深く理解できるよう工夫します。

満茂の多角的な側面を紹介する：武将としての顔だけでなく、領民を思いやる慈悲深い領主、そして文化の振興にも力を入れた人物として、満茂の多様な側面を紹介します。単なる歴史上の人物としてだけでなく、現代にも通じる彼の思想や行動を浮き彫りにします。

郷土の歴史への親しみと誇りを育む：本荘のまちがどのように形成され、現在の姿になったのかを、満茂の功績を通して示します。これにより、市民が自分たちの住むまちの歴史に親しみを感じ、郷土への誇りを育むきっかけを提供します。

資料公開による学術的寄与：これまで研究者以外にはアクセスしづらかった一次史料を公開することで、今後の本荘史研究の深化に寄与します。

3. 展示構成の特色

展示は、満茂の生涯を追う「生涯と功績」のセクションを中心に、新市指定文化財を詳細に解説する「新指定文化財が語る真実」、そして満茂が築いた本荘藩の文化に触れる「本荘藩の成立と文化」の3部構成とします。特に「新指定文化財が語る真実」では、書状の内容を現代語訳とともに展示し、絵図の主要な場所をパネルで紹介するなど、来館者が理解しやすいよう工夫を凝らします。また、子どもから大人まで楽しめるよう、視覚的な資料や分かりやすい解説パネルを多用し、郷土の歴史を学ぶ「入り口」としての役割も果たします。